

設計担当者紹介



(株)久慈設計 建築設計部 次長

一級建築士 福山 登洋

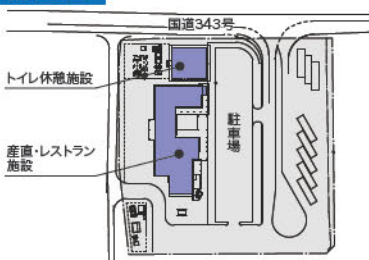
この度、陸前高田市と奥州市を結ぶ国道343号に、新たな道の駅として「道の駅 だいとう」が完成をいたしました。

多くの方々の御協力をいただき、無事竣工を迎えることが出来ました事、改めて御礼申し上げます。地域資源の活用、地域の活性化、情報の発信、人々の交流、憩いの場、防災など、道の駅に求められる様々な機能を満たす施設を目指して取り組みをさせていただきました。「室蓬瀝水の里」の名のもと、地域の皆様、利用する皆様に親しまれる施設になれば幸いです。

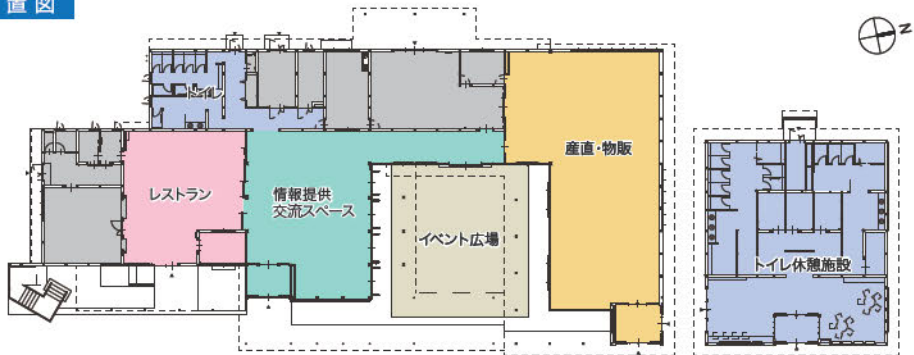
地図



配置図



配置図



「道の駅だいとう」名称由来

駅名は、公募により、市町村合併前の旧町名の大東町から「だいとう」に決定。愛称は、郷土の偉人・芦東山(あしとうざん)が、この地の山々の間を清水が流り合うように流れる様になぞらえて、謙譲の美德を念ずる平和郷を賛美し、命名したと伝えられる「室蓬瀝水(しっぽうじょすい)の里」に決定しました。



Always with a SMILE!

2025
4月号
Vol.241

特集

「ひと・ものが集い、人・物を『育む』拠点」 一関市「道の駅 だいとう」 建設工事設計監理業務

2025年4月17日、オープン!!



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
（一級建築士事務所）

KUJI HIGASHINOH ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
（一級建築士事務所）

บริษัท กุจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO.,LTD.
Bangkok

Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住 所 / 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL / 019-624-2020

公式HP
トップページ



公式HP
リクルートページ



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



一関市「道の駅 だいとう」建設工事設計監理業務

- 施工地/岩手県一関市大東町渋民字西風 地内
- 竣工年月/令和6年12月10日 引き渡し
- 敷地面積/9,932㎡
- 延床面積/産直レストラン等施設 860.81㎡
トイレ休憩施設 238.49㎡
- 構造/産直レストラン等施設 木造平屋建
トイレ休憩施設 木造平屋建
- 駐車場/一般64台、大型8台
- 営業時間/9:00~19:00 (4/17のみ12:00~19:00)

地域の魅力発信と交流

一関市大東地域は、岩手県南部に位置し、北上高地の雄大な自然に恵まれた中山間地域です。東部は室根山、北西部は蓬萊山、阿原山と山々に囲まれており、地域を東西に流れる砂鉄川とその支流が山里を潤していることから「室蓬讓水(しっぽうじょうすい)の里」として親しまれています。産業面では、従来よりこの地域を支えてきた農林畜産業だけではなく、交流機能の拡充などを基盤とした地域ブランドの魅力発信や地域資源活用を中心とした6次産業化への取り組みも現在盛んに行われております。

国道343号は復興支援道路として「渋民工区」の道路整備がなされ、沿岸部と内陸部が繋がる事で、時間距離が短縮され道路利用者の利便性が大きく向上をしました。国道456号の結節点となり多くの方が日々往来しております。

この度、地域の魅力発信と地域資源活用の拠点として「道の駅だいとう」の整備事業に久慈設計グループが参画をさせていただきました。ひとつひとつ、ひとつものが繋がる新道の駅が誕生いたしました。



木材の印象を活かした落ち着いた外観



道の駅エントランス



トイレ休憩施設(外観)



産直・物販エリア



レストランエリア



情報提供・交流スペース

▼SDGsの取り組みの一つとして、全国植樹祭(陸前高田市)で使用したルーバーを再利用いたしました。



情報提供・交流スペース



トイレ休憩施設(内観1)



トイレ休憩施設(ベビーコーナー)

人々が集う空間づくり

新しい道の駅は、在来軸組み構造とし、黒、白と落ち着いた色彩と、地域産木材を活用した木目の印象が重り合う意匠性を持たせた外観デザインとしております。梁の架構形式を採用し、産直物販、レストラン(52席完備)、情報提供交流スペースの主要な3室は天井が高く開放的で木材を表し落ち着いた空間としております。

隣接するトイレ休憩施設は身障者・二輪車駐車場から雨がかりのないアプローチを計画し、子育て世代にも配慮し、ベビーコーナー、キッズトイレを整備、訪れていただく全ての方が快適に利用できるよう取り組みをいたしました。

交通の要所に位置する本施設は、国土交通省が選定する「防災道の駅」に求められる耐震安全性分類、構造体分類に準拠しており、非常用自家発電設備、太陽光発電による無停電化、貯水槽・備蓄倉庫などを備えており安全対策にも対応しております。